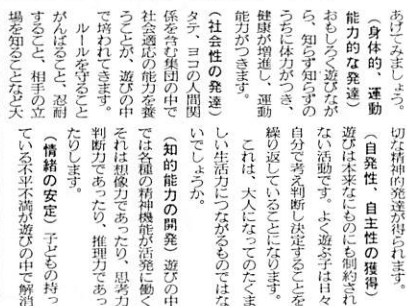


たくましく…あかるく



よほどのことがない限り、多くの子どもに接する機会を与えるとするとは、親野を止むることになるので自由と遊ばせないものである。「儼ない」「止めない」といって、何年かたにも探究や自主、自律心が育たなくなり、依存心強くなるのではないだろうか。

家庭で遊ばない親子は話しあひ、たましく、明かしく、やさしい子どもを育てたいものです。



引き抜きましよう



セイタカワダチソウが町内の月から分担地区の公共用地に生
道端や川土手、空地や畑、中には
いるアワダチソウの増殖作業
民家の庭先までも繁殖し、黄色の
花をつけています。
個人の土地に生えているのは
町の男子職員が班を編成し、十
それぞれ土地所有者や地域共同

校の名 続柄 子の名 月 日 印

岩英夫 長女 恵子 9・24
山光政 二男 義隆 10・5
重 崧 二男 通幸 10・15
重正治 長女 治子 10・16
昭文 二女 純子 10・16
姻(おしあわせに)
隆男 西条
雅子(能野) 山口市

あなたの文芸作品
ご意見、お気づき
ことなど未発表の
のをお寄せくださ

小東 松尾 君代
岡山の祭地の広場に月満ちて野点
受ける露を置きつつ
鯛忘れしをいま思ひつく
沙魚釣りを楽しみをりて夕近し

岩光	宇部市	石丸 松行	西口
啓子(松田)	小南	智子(松行)	福岡久留米市
本光良	井関	氏名	昭和
博士(安田)	小野田	月日	年令
孝	宇部市	西田ヲノ	10・7
草	宇部市	村田トメ	10・7
英子(泉瀬)	飛石	中本 操	10・9
杏(義和)	福岡市	山崎 雄雄	10・10
あや(浜中)	福岡市	木村 花子	10・15
永来	西門前	山藤 利子	10・26
昌代(小笠原)	豊浦郡志川町	木村 花子	10・25
谷元男	閩	飯田ヲノ	10・27
稻実 武田	北九州市	小西 徳本	喜一

あれこれ

阿小の井上先生 毎 朝の交通指導で表彰
道で毎日交通指導を続けておられ
ます。 目に約三百人が笑いま

笑い、と声援の中で、老人大学体育大会が、秋の米の収穫のさなか、二十日、「あじのす」大学体育大会が、岡山県で開催、十九の老人クラブに、対抗、スパーレース、安運動、ジャンケン競走など八種、に約三百人が笑い、と声援につづれ、競い合いました。

11月11日→17日
—税を知る週間

References

員の勤務して負担しな
らない。全費。のよう
な日滞に必要なる道
路や住つくり、社会
福祉を充実させよう
といふ面で役立つこ
のよう、私たちの生
活にたがりをもち
いて、その仕組みを
正し理解していただ
く。十一月十一日か
ら「税金を知る週」
が始まる。本町では
十四日午前十時から
役場で税務相談所を
開設し、

[illegible]

遊びの有用性

子どもは遊びの中で、将来の生活に必要な経験をし、学びとています。その中で主なものを取り

井上先生は四月本町に赴任以来児童が登校する午前七時四十分か会社から交通安全学習会として来影されました。

一九四七（昭和二三）年には、

その結果、政府は一九六〇（昭

和主義を基本とした日本国憲法が施行されました。こうした民主化がすすめられるなかでも、民間財閥

審議会」を設置して、この問題の解決の基本方策を諮問しました。

この問題が未解決のままでとり残され、深刻な大患いおこれてきま

調査と審議を行って、一九六五（昭和四十）年に同問題解決の

戦後も戦前の全国水平社運動を受け継いで、自主的な部落解放の

この答申を受けて、政府は、一

かとの運動が、滑らかに展開される
ことになりました。この運動の進
展の過程において、この問題の解

事業特別措置法を公布し、この法律にもとづいて、同問題の解決

ことが明らかにされ、政府や国会に対して総合的な同和対策を要請

文責・阿知須町同和教育推進委員会

978-0-7656-1000-0

サッカー▽ソフトボール▽柔道
▽年同志会を表彰
郡社会教育振興大会の
席上で

11月

本町では十四日午前十時から
場内税務相談所を開設し、
ついでに相談に応じます。
お気軽にご相談にお越しくた

無恥に過す一剋を人にむね
の町で養ふるには秋の陽光を
さいのて空をめぐる白雲

源河 三吉 琴

自転車を押す小女等が
流しける山間の笹の中童顔撫
をりたてゝ日本

砂三 渡辺 宮二

小山の繁林の丘場に月夜の穿薄、
戴きくはとせむ

小西 平海 アサツ

うんどうかい(竹べ
町立岩倉保育園
おかもとまき(

台風の過ぎたる朝の朝陽にマンジ
ュンヤの花もゆるかに咲く
岩田 中本 幸枝
久々の残葉終るを帰る道暗闇に花
も我も終らず
浜 石田サダ子
あせらずに今ある店を盛つたむち
畠ひ直と眠りにつきぬ
砂一 松代 一師
秋穂の山いまぬきいでこうぞう
と昇る月輪おろすまで立つ